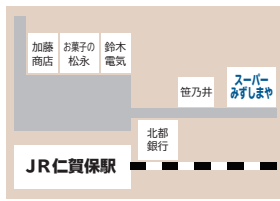




スーパーみずしまや
 (にかほ市平沢字新町 28-2)
 時間: 7:00~19:00
 定休日: 年中無休
 問合せ: ☎ 35-4104



応募方法 ハガキ、FAX、QR (申し込みフォーム)
記入事項 発行号、郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、『広報にかほ』への意見・感想等を入力
応募期限 10月25日(月)
応募先 〒018-0192 にかほ市象潟町字浜ノ田1 にかほ市役所「広報にかほプレゼント係」
 FAX 0184-62-9013 QRコード
 ※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。



第21回 スーパーみずしまや
 前回は市民の皆さんからたくさんのお応募・意見をいただき誠にありがとうございました。今回のにかほ本舗は、JR仁賀保駅前に店舗を構えるスーパーみずしまやさんを紹介しました。院内油田が最盛期を迎えていた昭和10年、現在の3代目・佐藤匡一さんの祖父が新潟から越して来てよろず屋として小国に開業。そして今から50年前、スーパーみずしまやとして現在の場所に移りました。普段から近所の方が訪れる地元のスーパーとして、鮮魚、果物といった生鮮食品や日用品などを扱っているほか、小中学校や老人ホームなどに野菜を中心に卸しています。

佐藤匡一さんは、「みずしまやは昔から馴染みのお客さんに育てられてきた。この地域には年配の方や移動手段がない方が多い。不便にならないよう金額の大小に関わらず対応していきたい」と語ってくれました。今回、スーパーみずしまやさんから「旬の海鮮詰め合わせ」を5名様にプレゼント！お惣菜なども取り揃えていますので、ぜひ来店ください。



※季節に応じた鮮魚・海産物の詰め合わせになります。



千客万来 にかほ本舗

広報で伝える市内店舗の魅力(商工会加盟店の紹介と人気商品の読者プレゼントコーナー)

第21回 スーパーみずしまや

旬の海鮮詰め合わせ 5名様にプレゼント!



東京オリンピック・パラリンピック ホストタウン情報

2020年9月にリベリア共和国大使館とホストタウンパートナーシップ協定を締結し、10月にリベリア共和国のホストタウンに登録されました。リベリアの選手や国民の応援・交流を通じ、SDGsについてできることを考え行動しましょう。

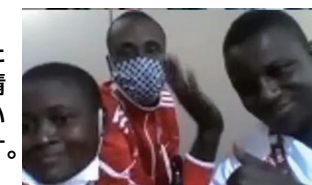
問 スポーツ振興課 ☎ 33-8855

リベリア共和国パラリンピック選手団オンライン交流



▲リベリアの国旗を振る院内小学校の児童たち

9月2日、パラリンピック選手団と仁賀保高校や小・中学校、障がい者福祉事業所などをつなぎオンライン交流が行われました。Thomas Mulbah (トーマス・マルバー) 選手とPatience Johnson (ペイシャンス・ジョンソン) 選手は車イスでやり投げ競技に出場。競技を終えリラックスした表情の両氏は、児童・生徒たちからのさまざまな質問に応えながら交流を深めました。~私たちパラリンピックチームのために尽力いただきありがとうございました。このような素晴らしいホストタウンとしての役割を果たしていただいたことを大変嬉しく思い感謝しています。リベリア流に「THANK YOU YAHH」~



ホストタウンをきっかけに多様性と共生を学びゴールではなく「スタート」にしよう!

選手の皆さんが躍進する事を願うグイスの小物を、母や娘の着物地を使って作りました。リモートで選手団と交流する機会に恵まれ、小学生や高校生と共に参加し有意義な時間を過ごすことができました。選手団から喜んでいただき、74歳、2度とない経験をさせていただいたことを大切にしたいと思います。
 手作りおみやげを製作
大瀧 千代子 さん

オリンピック競技に新採用されたサーフィン体験を行い、にかほ市の子どもたちにも楽しさを伝えることができました。他にも新採用されたスケートボードなどがあり、多様なスポーツに親しんでほしいと思います。子どもたちがイキイキとした表情でサーフィンを楽しんでくれてこっちまで楽しくなりました。
 オリパラ競技体験・講師
伊藤 伸 さん

高校3年の時、当時の担任から勧められてホストタウンの活動に興味を持ちました。オンライン交流会で司会をした際、違う国籍でも英語で繋がれたのはとても嬉しかったです。オンライン交流会を通じ、今よりもさらに交流を広げ、個人としても沢山の活動に参加していきたいと思っています。
 ホストタウンサポーター
森 涼平 さん

バリアフリーチェックやパラ採火式などさまざまな行事に関わられたことは栄光に思います。またコロナ禍のなか、ホストタウンとして好印象をいただいたことも大変素晴らしいことでした。そして、パラリンピックは生きる勇気と元気を与えてくれた大会でした。共生社会の実現に一歩踏み出せたと確信しています。
 にかほ市身体障害者協会・会長
田口 志郎 さん

今号で最終回 ~東京2020オリンピック・パラリンピック ホストタウン情報~

ホストタウンを通じてお互いの文化や歴史を知り、障がいの有無に関わらず共にスポーツを楽しむなど多様性と共生社会を理解する取り組みを進めてきました。ホストタウン情報は今号で最終回になりますが、今後もこの取り組みを進めていきたいと思っています。リベリア共和国との交流に携わってくれた皆さん、ありがとうございました。



Mt. Chokai & Tobishima Island Geopark
鳥海山・飛鳥ジオパーク

鳥海山・飛鳥ジオパーククリレーコラム ~日本海と大地がつくる水と命の循環~ vol.82

『鳥海山矢島口5合目祓川の低温湧水』

秋田地学教育学会
板垣 直俊 氏

鳥海山の北側、矢島口5合目の祓川神社前に湧水があります。この湧水は、鳥海山のステージⅢ(約2万年前以降)に噴火した七高山溶岩の末端の崖下から湧き出ており、ジオサイトである竜ヶ原湿原の形成要因の一つになったと考えられています。

令和2年8月から10月の3カ月間(雪渓が無くなる時期)、湧水の水温を温度記録計で1時間間隔で測定した結果、降雨時には10℃前後に上がりますが、それ以外の時間はほぼ4℃前後(3.6~4.2℃)で、気温の変化とは関係なく盛夏でも低温であることが分かりました。盛夏における湧水の水温について、文献や資料を調べてみると、4℃前後という低温は、日本ではこれまで浅間山

の鬼押出し溶岩末端の湧水群から得られているデータ(ほぼ3℃前後)以外は見当たりません。(ちなみに、にかほ市の獅子ヶ鼻湿原の湧水の水温は7℃前後です。)

実は祓川の湧水の出口は、かつて「由留義の壺(ゆるぎのつぼ)」といわれ、信仰の山であった鳥海山に登る修験者や参拝者たちが心身の汚れを洗い落とし身を清めた「垢離(こり)の池」の水源にもなっています。修験者や参拝者たちが4℃前後の冷水で身を清め、登山口から険しい山道を登ったことを想像すると、改めて鳥海山の水環境と歴史・文化の関係について考えさせられます。

▶「垢離の池」と矢島口登山道入口